

鹿角市議会
6月定例会
行政報告

- 主な内容**
- ・ふるさと鹿角応援寄附件数・金額が過去最高
 - ・物価高騰に対する緊急支援対策を実施
 - ・JR花輪線が全線運転再開



令和5年第4回鹿角市議会定例会が6月1日から22日間の会期で開かれました。初日に行われた市長の行政報告の概要をお知らせします。
☎総務課 行政班 ☎ 30-0203



↑JR花輪線は5月14日に全線で運転を再開しました



↑大型連休中に道の駅かつのあんとらあで開かれた「わくわくフェスタ」



↑トラクター上部に取り付けられた機械が位置情報をキャッチし、自動運転が可能に

■職員 の 公金等 着服 事件

市教育委員会事務局の職員が、公金などを着用した事件について、市政運営の総括者として大変重く受け止め、責任を痛感しています。

二度とこうした不祥事を発生させないよう、定期的に出納状況をチェックし、その結果を会計管理者に報告することを義務付け、通帳を使用する際には、その都度、通帳使用簿に記入すること、特定の職員のみに入入金を行わないことなどを徹底し、全ての団体で会計事務取扱マニュアルを作成し、事務改善とチェック体制の強化を図ったところです。

特に管理監督職に対して

■ふるさと 鹿角 応援 寄附

令和4年度は、件数が2万2118件、金額が3億3515万2876円で、ともに過去最高となり、前年度と比べて、件数が35.3%、寄附額が43.8%の増となりました。

返礼品では、寄附者からの評価が高く、リピートが定着してきているアップルパイ

■官製 談合 再発 防止 に向けた 入札 制度 の 見直し

昨年度から導入しているラウンド係数を用いた変動型の最低制限価格方式に加え、4月から低入札価格調査制度の運用を開始しています。昨年度設置した入札監視委員会を通じて、公正性と透明性を確保し、公正・公平な入札制度に向けた改革を進めます。

■物価高騰 に対する 緊急 対策
物価高騰の負担感が大きい低所得世帯への負担を軽減するため、令和5年度の市県民税均等割非課税世帯や家計急

■地域 医療 の 推進

医療機関開設資金を活用した「かつのファミリークリニック」が、4月6日にオープンしました。小児科・耳鼻咽喉科・内科・呼吸器内科の4つの診療科を持つクリニックが開業したことは、地域医療の充実に向けた前進です。

現在、策定が進められている秋田県の次期医療計画の中で、一般的な入院治療を完結できる圏域である2次医療圏について、現行の「大館・鹿角医療圏」を含む8医療圏から、3または5医療圏に見直す案が示されています。

こうした県の動向がある中、医師をはじめとした医療従事者の確保や開業支援に注力するほか、岩手医科大学や弘前大学とも連携を図りながら、地域医療体制の充実に取り組みしていきます。

■予防 接種 事業

疾病の発症や重症化を予防するため、新たに乳幼児のおたふくかぜワクチンと、成人の带状疱疹ワクチンの接種費用を助成します。

■スマート 農業 の 推進

4月24日から、高い精度の位置情報を測位することができるRTK基地局の運用を開始しました。現在は、10ライセンスを貸与し、主にトラクターによる耕起・代かき作業に活用されています。

■農業 施設 災害 の 復旧 状況

5月31日時点で、農地については、12カ所のうち完成が2カ所、施工中が7カ所、農業用施設については、42カ所のうち完成が3カ所、施工中が10カ所、入札公告中が11カ所となっています。

林道施設は、現在、入札公告中となっています。引き続き、早期の復旧に向けて取り組んでいきます。

■大型 連休 中 の 入込 状況

コロナ禍における行動制限がなくなったことで、県外や海外からの入り込みが増加し、観光施設では前年比11.2%、宿泊者数も112.3%で、回復傾向にあります。

八幡平山頂の入り込みは前年比20.3%で、5月の大型連休中盤に、天候に恵まれたことに加え、市内の2つの道の駅で開催されたイベントなどによって周遊性が向上し、入り込みの増加につながったものと捉えています。

今後は夏祭りなど本格的な観光シーズンが控えており、国内外からの観光誘客に向け、積極的に事業を展開していきます。

■JR 花輪 線 の 全線 運転 再開

早期復旧に向けて、秋田県や沿線の市町村との連携によるJR東日本盛岡支社への要望活動などが実を結び、5月14日に全線で運転が再開しました。

■JR 花輪 線 は、通勤 ・ 通学 に 必要 な 公共 交通 であり、本市 の 観光 施策 に 欠かす こと の できない 路線 である こと から、今後、秋田 県 や 花輪 線 利 用 促進 協議 会 で 利 活 用 に つ い て 検討 を 進 め て い き ま す。

■雇用 対策
今年3月の新規高卒者の就職状況は、管内3高校の就職希望者51人全員の就職が決まっています。

新規高卒者に対する管内求人倍率は6.47倍と高い水準にある中で、管内高校の進学率が上昇傾向にあることから、労働力の確保を図るため、大学生や移住者の求人活動を強化していきます。

■かづ の パワー

売電事業を再開した令和4年度の当期利益が1280万円となり、電力を取り巻く情勢が不安定な中で、事業が順調に推移しています。

引き続き、かづのパワーと連携しながら、地域経済の活

変世帯を対象に、3万円の給付を行うこととし、準備を進めています。

性化に資する先駆的な取り組みを推進していきます。

■土木 施設 災害 の 復旧 状況

国の補助事業に採択された市道と河川15カ所のうち14カ所で、年度内の復旧に向け工事に着手しています。

また、被災により通行止めとなっている橋りょうについても、順次復旧に向けて取り組んでいきます。

■中 学 校 部 活 動 の 地 域 移 行

休日の中学校部活動の地域移行について、課題の整理と今後の方向性を検討するため、中学校や市内スポーツ団体などで組織する「鹿角市部活動地域移行検討委員会」を設置し、5月25日に1回目の検討委員会を開催しました。

会議では、それぞれの立場からさまざまな意見や要望が出され、将来にわたり子どもたちにとって望ましい活動環境を整えていくことができるよう、検討を重ねていきます。